

Ⅱ 国語「お手紙」(2組)

1 学習の概要

本学級は、本を読むことが好きな子が多く、読書タイムでは集中して本を読むことができています。1学期に行った「ふきのとう」や「スイミー」の学習を通して、場面の様子や登場人物の気持ちを考えてノートに書いたり、役に分かれて動作をつけて読んだりする経験をしてきました。登場人物になりきって読む活動は、自信をもってできる子が多くなりました。しかし、読み取った内容を自分の言葉で表現することや全体場で伝えることに苦手意識をもっている子が多くいました。

そこで、「お手紙」の学習を通して、がまくんとかえるくんの気持ちの変化について、ペアでの対話と音読、全体での話し合いを毎時間行うことにより、友達に自分の考えに自信をもって話したり、自分の考えを深めたりすることができるようになってほしいと考え、この学習を計画しました。

2 ねらい

- がまくんの言葉から、登場人物の気持ちの変化を想像することができる。
- 読み取ったことをもとに工夫して音読することができる。

3 取り組み

(1) 学習場面を音読する

どの場面を学習するのか見通しをもって取り組むことができるように、毎時間授業の始めに音読をしました。読むときには、声の大きさや読む速さ、間の取り方を意識させました。始めは大きな声でどなっていた子も、繰り返すうちに聞く人のことを考えて声の大きさを工夫して読むことができるようになりました。また、句読点のところの間の取り方を意識して上手に読むことができました。

(2) がまくんの様子や気持ちがあらわれている文に線を引く

がまくんの気持ちを考え、自分の言葉で表現できるように、音読した後にがまくんの様子や気持ちがあらわれている文に線を引き、全体で確認をしました。

(3) がまくんの気持ちの変化を考え、話し合う

① がまくんの気持ちをノートに書く

教科書に線を引いたことをもとに、がまくんの気持ちを考えて自分の言葉でノートに書きました。どの子も一生懸命に考えることができました。



自分の言葉で書くことができたよ。



教科書に線を引いたことをもとに気持ちを考えたよ。

「がまくんの気持ちをノートに書いている様子」

② がまくんの気持ちを隣同士で話し合う

2人組で話し合ったことにより、全員が自分の考えを隣の人に伝えることができました。「お手紙を書いてもらえてうれしい」や「やっと夢が叶った」「しあわせ」など、自分の考えたがまくんの気持ちをしっかり伝えていました。

聞く人も友達の考えを「うんうん」とうなずいたり、自分と違う考えをノートに赤鉛筆でメモしたりしてしっかりと聞くことができ、自分の考えを深めることができました。



「隣同士での話し合いの様子」

③ 全体で話し合う。

一度自分の考えを隣の人に伝えたことで、みんなの前で話すことが苦手な児童も自信をもって全体場で発表することができました。

(4) 読み取ったことを生かして音読する

役になりきることができるように、お面をかぶって音読をしました。話し合い活動により、がまくんの気持ちの変化に気づくことができ、「でも、来やしないよ。」はお手紙をあきらめた様子で、「ああ。」はとても幸せそうになど、気持ちを込めて上手に音読することができました。



「みんなの前で音読している様子」

4 成果と課題

この学習では、隣同士の話し合いにより、自分の考えをしっかりと伝えることができたと思います。また、隣の子に考えを認めてもらうことで自分の考えに自信をもつことができたと感じます。この学習の後、わくわくトークや他の授業でも自分の考えをすすんで伝えることのできる子が増えてきました。「お手紙」の学習を通して登場人物の気持ちの変化を考えてきたことにより、物語文の読みが深まったと思います。今後は、2人組だけでなく、5～6人のグループでも話し合う活動を行い、さらに自分の考えに自信をもって話せるようにしていきたいと思います。